

「3D映像によるライブ・サージェリー」

～第50回日本産科婦人科内視鏡学会～

東京医科大学病院産科・婦人科(主任教授:井坂 恵一)では、7月30日(金)、第50回日本産科婦人科内視鏡学会において、最新型の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチS」を用いて、良性子宮筋腫のライブ・サージェリーを行います。

ダ・ヴィンチSは立体映像が極めて優れた機種で、東京医科大学病院5階手術室と京王プラザ内の学会会場を回線で結び、フルハイビジョンカメラを使用して3D映像で上演します。

産科婦人科領域において、3D映像によるライブ・サージェリーは、日本で初めての試みとなります。

●東京医科大学病院とダヴィンチシステム

当大学病院の心臓外科が「冠動脈バイパス術」に対する最新の手術方法として、日本ではじめてのロボット支援手術を導入したのは2005年。

以後、当大学病院では心臓外科で28例、泌尿器科で211例、産科・婦人科においては45例、呼吸器外科で8例、消化器外科・小児外科で8例と、ロボット手術に積極的に取り組んでいます。

2008年12月「根治的前立腺全摘出術における内視鏡下手術用ロボット支援」という名称で、正式に高度医療(第3項先進医療)として厚生労働省に承認されるなど、日本におけるロボット手術は徐々に発展しつつあります。

東京医科大学病院におけるロボット手術の実績

平成 22 年 7 月 20 日現在

診療科名	手術開始年・月	対象疾患	症例数
心臓外科	平成17年12月	冠動脈バイパス術 僧帽弁形成術 心房中隔欠損閉鎖術 心腫瘍摘出術	17例(44 例) 1例(17 例) 10例(3 例) 0例(8 例) ()内は金沢医大での実績
泌尿器科	平成18年8月 平成21年7月	根治的前立腺摘除術 膀胱全摘除術	207例 4例
産科・婦人科	平成21年3月	子宮癌手術 良性子宮腫瘍手術	22例 23例
呼吸器外科・甲状腺外科	平成22年3月	縦隔腫瘍 今後肺癌を予定	8例
消化器外科・小児外科	平成22年2月 平成22年6月	大腸癌 食道癌	7例 1例

●産科・婦人科でのロボット手術

ダ・ヴィンチによる手術は、コンソールボックスで医師がモニターを見ながら装置を動かすと、その手の動きがコンピュータを通してロボットの腕に伝わり、手術を行うシステムです。

ダ・ヴィンチシステムの利点は、①ロボットの腕は 200 度以上回転でき、腹腔鏡手術と比べて稼働域が格段に向上②3D画像で幹部を拡大して、毛細血管に至るまで止血しながら手術できるため、従来に比べて出血量が 10cc以下(良性子宮筋腫手術で通常 600cc以下と少なく、低侵襲。

そのため、術後 3 日で退院が可能(腹腔鏡手術では通常 10 日～2 週間程度)などです。

記

学会名 : 第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会

ライブ手術日 : 平成 22 年 7 月 30 日 (金) 午前 10 : 30 ~ 11 : 50 分

会場 : ■京王プラザホテル内 第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会

第一会場 コンコルドボールルーム

■東京医科大学病院 5 階中央手術室

執刀 : 井坂 恵一 東京医科大学病院 産科・婦人科 主任教授

以上

本件に関するお問い合わせ先

東京医科大学大学病院

企画広報室長 宇佐美 脩

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

TEL:03-3342-6111(代) 内線 2022

FAX:03-3340-1897